

正会員 様 (下段○印が担当世話人です)

城と史蹟を歩く会 平成16年春のスケジュール

世話人+有志研修会=2月27日(金曜日) 梅の池上本門寺と洗足池周辺を歩く
30名程度=参加申し込みは15日までに担当世話人まで
往路=八幡宿8時09分、蘇我16分着、36分発(③番線京葉快速、前の方乗車)
東京9時24分着、蒲田経由、池上駅10時10分ころ駅改札前集合
移動=洗足池。復路=五反田、品川経由、八幡宿18時30分ころ着
主要コース=池上本門寺、本行寺、池上梅園(昼食)、洗足池、勝海舟別邸跡
会費=500円(池上梅園有料=100円は各自払い)
雨天予備日=3月2日(火曜日)

第29回=3月25日(木曜日) 桜と歴史の里・谷中周辺を歩く
往路=八幡宿8時09分、蘇我16分着、36分発(③番線京葉快速、前の方乗車)
東京9時24分着、山手線経由、日暮里駅10時ころ南口改札前集合
復路=鶯谷駅、東京、京葉線経由、八幡宿18時30分ころ着
主要コース=善性院、御殿坂、本行寺、延命院、夕焼けだんだん、岡倉天心公園
(昼食)、大名時計博物館(有料)、全生庵、瑞輪寺、根津神社
会費=千円(入館料含む)、雨天予備日=3月26日(金曜日)
正会員の欠席=欠席は1週間前までに担当世話人へ(準備、雨天中止連絡のため)

第30回 4月24日(土曜日) 徳川家康ゆかりの駿府城と久能山東照宮バスツアー
往路=五井駅東口5時45分、八幡公民館6時00分、蘇我駅西口15分(15分前
集合)、京葉、湾岸、首都高、東名高速道、清水IC
復路=静岡IC、東名、アクアライン、出発地20時30分ころ着
見学地=日本平、久能山東照宮、静岡浅間神社、駿府城、宝台院
参加費=7千円(会費、バス、ロープウェイ、入館、拝観料、昼食、保険料を含む)
受付=3月25日。定員(49名=補助席使用しない)次第打切り

- ①下見結果、当日の天候などにより一部コース内容を変更することがあります。
- ②運営はボランティアで行なわれています。進行に協力願います。
- ③特記以外、保険はありません。万一の責任は負えませんので各自ご注意願います。
- ④雨天中止のとき当日早朝または前日に担当世話人から電話連絡します。
- ⑤個別予告編を本スケジュール表に統合しました。アルバムは不定期発行とします。
- ⑥会員多数のため、現在、新会員の募集は見合わせています。

城と史蹟を歩く会 事務局長=小出惣治 41-1750 (事務局制にしました)
会長(講師)=山岸弘明 42-2237



←本門寺



→大目道楽像



夕焼けだんだんと谷中銀座

第29回



研修会

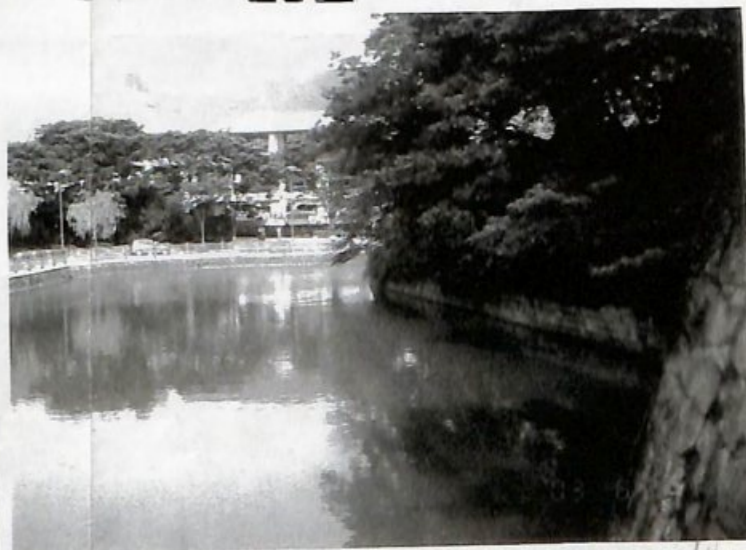
←五重塔



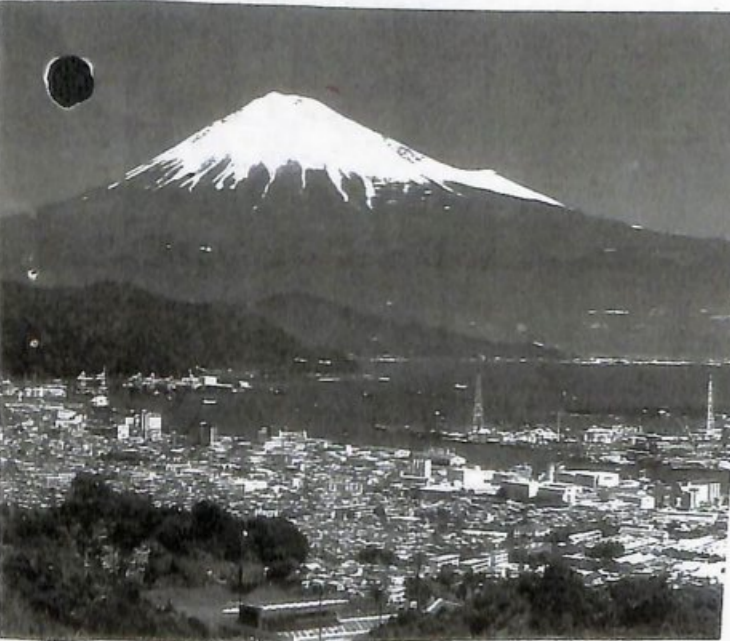
→根津神社



徳川家康



駿府城



日本平から富士山を望む

第30回

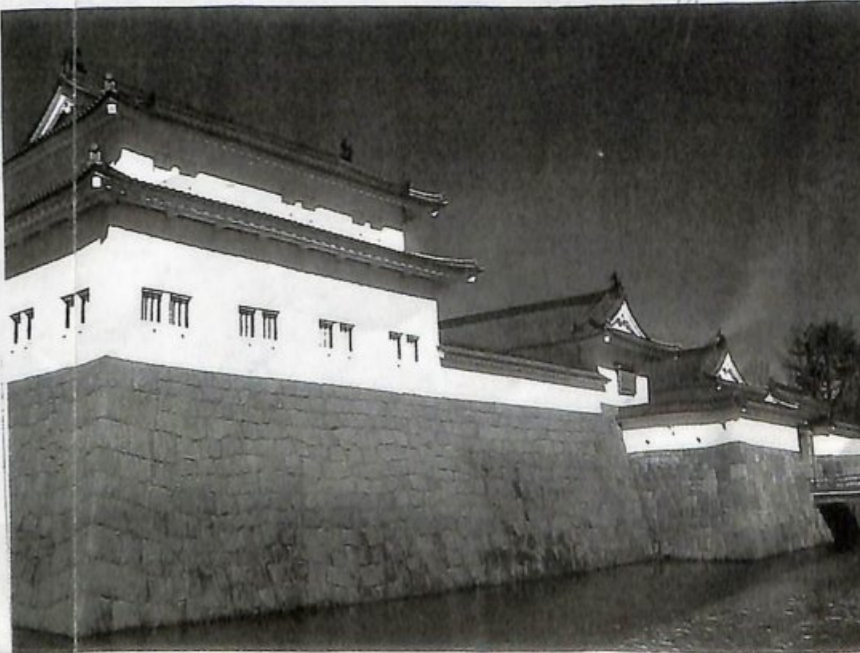
→浅間神社



ロープウェイ



↑久能山東照宮



- 4) 山門と日樹聖人五輪塔、梵鐘
 - ①山門=楼門形式、仁王門。阿吽の金剛力士像。徳川秀忠寄進であったが、昭和20年戦災焼失、復元
 - ②日樹聖人=本門寺住職で不受不施派の中心的僧侶。宗派以外から施しを受けず施さない身延、池上対論に敗れ、幕府は邪教として厳しく弾圧した。幹部7人流罪、日樹は信州に墓ではない。全国の信者が自派の興隆と仏果増進を祈願。日樹の花押に注目
 - ③梵鐘=加藤清正の娘で紀伊徳川家初代頼宣(家康10男)の正室あま姫寄進 高さ2.2、口径1.7m。正保4年
 - 5) 加藤清正の宝篋印塔
 - ①加藤清正=豊臣秀吉の子飼武将で朝鮮の虎と恐れられた。関が原の合戦は家康に与して熊本55万石を獲得。日蓮宗の熱心な信者で本門寺の興隆に尽くした。家系断絶への同情も加わり清正公信仰が庶民に広がった。
 - ②浄池院殿日乗台霊 慶長16年6月4日遠行(慶安4年建立)、宝篋印塔、石垣上全高およそ4m。完全な形で現存
 - 6) 大堂(自由参拝)
 - ①本堂に相当。江戸時代は祖師堂。戦災焼失、昭和39年鉄筋コンクリート再建
 - ②重要文化財の日蓮聖人座を像る
 - 7) 経堂(現存、重要文化財)
 - ①経文をおさめる蔵。方形造りもこし。本来は八角形の書棚が回転。7回忌の正応元年建造
 - ②天海版一切経5,000巻を収蔵
- 小休息=自動販売機、トイレ(昼食の梅園には自販機がありません)
- 8) 本殿と日蓮聖人御廟所
 - ①本殿=鉄筋コンクリート戦後の再建。釈迦、4大菩薩、祖師像をまつる
 - ②御廟所=日蓮聖人の墓。遺骨は身延山に収められたともいう。左は2代日朗、右は3代日輪
 - 9) 宝塔(現存、重要文化財) *急腹モ助。(日蓮上人の7世にいた)*
 - ①日蓮聖人茶毘所跡、灰堂跡
 - ②文政11年550遠忌に建造、昭和50年解体復元。木造の宝塔建築は大変珍しい



本内寺大堂



宝塔



日蓮聖人御廟所



本行寺

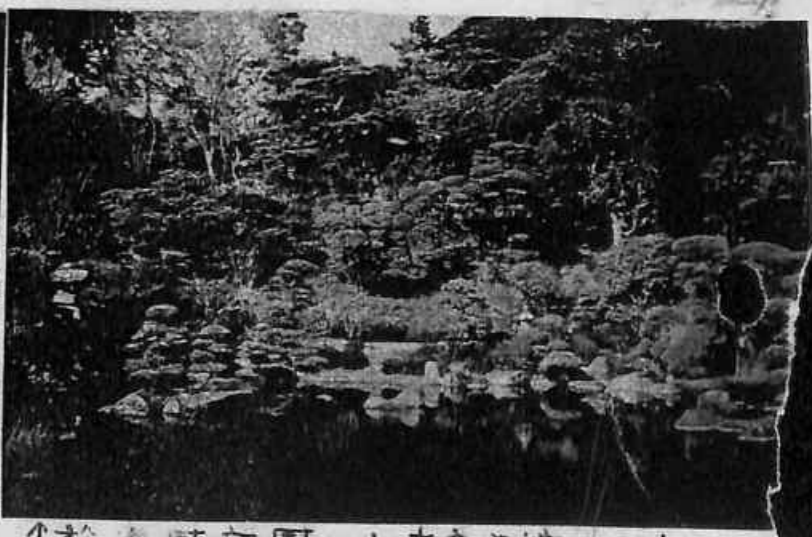


日蓮聖人御廟所

- 10) 徳川家康の側室お万の方の宝塔、紀伊徳川家墓所
 - ①御三家紀伊55万石徳川家康10男頼宣創設。將軍家万一のときのおさえ。5代吉宗が宗家8代、13代慶福(家茂)が14代將軍に就任
 - ②江戸菩提寺。歴代藩主墓は地元和歌山県海保村の長保寺にある。
 - ③初代頼房生母お万(家康側室)の墓=上総ゆかりの人。勝浦城主正木頼忠の娘。天正18年落城の時崖に布を垂らして海土に逃げたという「お万の布たらし」で有名。徳川家康の側室となり、頼宣と頼房を出産、蔭山殿と号する。承応2年、74才で没。法名養寿院口紹日心大姉
 - ④11代斉順生母の墓=家斉側室お登勢の方。旗本堀久勝俊の娘。世子家慶付から手つき中臈となり、1男3姫を誕生。小石川伝通院にも位牌型墓碑がある。妙操院殿門營性月良仁大姉
 - ⑤2代光貞室の墓=伏見宮の娘。天真院殿妙仁日雅大姉尊位
 - ⑥初代頼房室あま姫の墓=加藤清正の娘。本門寺興隆に貢献。瑤林院浄秀日芳大姉
 - ⑦5代吉宗(8代將軍)室伏見宮の墓=伏見宮親王の娘。宝永2年紀伊藩主時代嫁ぐが流産、20才の儂い運命に終わる。寛徳院殿玄真日中大姉尊靈
- 11) 西郷氏と狩野探幽の墓
 - ①2代將軍秀忠の生母、西郷の方、実家の墓所。生実5千石から安房東条藩1万石となるが、元禄時代に勤務成績不良として旗本5千石に降格された。
 - ②狩野探幽は江戸はじめの代表的画家。幕府御用絵師として二条城障壁画、名古屋城襖絵などを残した。周囲に鍛冶橋、木挽町両流一族の墓。ひょうたん、亀扶型はめずらしい
- 12) 本行寺(大坊)と日蓮聖人臨終の間
 - ①本堂
 - ②宗祖灰骨堂、旅装高祖、日蓮大菩薩
 - ③日蓮聖人臨終の間=弘安5年(1282)日蓮聖人は身延山を出て、病氣療養の旅の途中、この地、池上宗仲館において逝去、行年60才。入寂の旧跡
 - ④お会式桜、花柳章太郎の墓
- 13) 区立池上梅園(昼食=入園料100円、65才以上無料)
 - ①園内に300本の梅の木。春の週末は観梅客でにぎわう。きょうは平日だが?ベンチを見つけて昼食
- 14) 朗峰会館と松涛園庭園
 - ①伝小堀遠州の名園。慶応4年西郷、勝、江戸城開城へ最初の会見地
 - ②松涛園庭園は非公開だが、朗峰会館のロビーからのぞきみ?



↑紀伊家墓所 ↓池上梅園



↑松涛園庭園 ↓吉宗側室お万



吉宗側室お万

15) 本門寺墓所

- ①力道山の銅像と墓=空手チョップで一世を風靡したプロレス界の王者
- ②西条松平家の墓所=整然と並ぶ
初代頼純室、6代頼謙、7代頼看、8代頼啓、9代頼学、10代頼英ほか
- ③8代將軍吉宗の側室おこん、おすまの墓
おこんの方(田安宗武生母)=紀伊藩士からの側室。宗武を産み、江戸城に従って
お内証の方を称したが29才で逝去。本徳院殿妙亮日秀大姉(徳川宝塔およそ3m=享保8年)
- ④おすまの方(9代將軍家重生母)=紀伊藩当時の側室。將軍就任前に赤坂紀伊藩邸で没す。26才。
深徳院殿妙順日善大禅尼(徳川宝塔およそ4.5m=正徳3年)
- ⑤前田利家側室(3代利常生母)の逆修層塔=11層。現存5層、上部を欠落。2代利長から弟利常に。
利家の正室お松に変わって江戸へ人質に。逆修は生存中に作る墓。赤文字で。
斯十一層石塔起立大願主加賀能登越中并領太守宰相卿御母逆修法号日寿福院殿日榮即道場高顕也
- ⑥加藤清正室(忠広生母)の逆修層塔=11層。現存8層、上部を欠落。
正応院祐真日倚、斯十一層石塔藤原氏加藤前肥後太守清正嫡男加藤肥後守忠広御母堂

16) 五重塔(現存、重要文化財)

- ①慶長12年秀忠建造。乳母岡部局が秀忠の病氣祈願平癒のお礼に寄進。
- ②五重、高寛、2重まで本瓦葺き、3重以上銅板葺き。高さ31.8m。一塔兩尊像と四菩薩像安置
関東では最古、最大。威容に圧倒される。

17) 日蓮聖人銅像と家斉3翁中野清武の墓

- ①日蓮聖人像
- ②中野清武の墓=旗本2千石。家斉將軍時代の取り巻き3翁の一人、養女お美代を家斉側室にあげ権勢をほしいままにしたが天保の改革で500石に降格された。高速院殿從五位下前播州石翁日勇大居士。隣は室で真行院殿妙月日照大姉、中野氏
- ③家斉側室お蝶の方=旗本西の丸新番組曾根重辰の娘、寛政8年御次、翌9年手つき中臈、7人の子宝に恵まれるが5人が早世して成人に達したのは斉莊だけ。田安家養子をへて尾張家再養子。速成院殿妙堤日利大姉



力道山御墓所設計施工編見内藤石



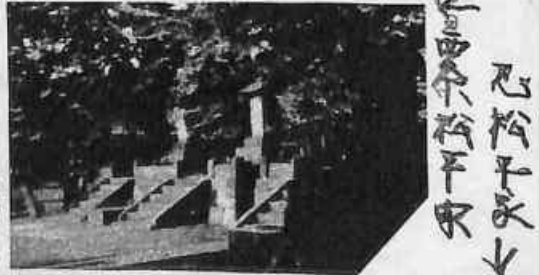
家斉側室お蝶



本門寺五重塔 東京 本門寺
三間五重塔姿 組物初重和様他重禅宗様各三手先
中備初重兼殿他重兼東 初重二軒繁垂木他重弱垂木
初・二重本瓦葺き、四重瓦葺銅板葺五重銅瓦葺
初重内部四天柱 来迎壁 仏壇
元禄十五年(1702)現在地に移築 二重以上は本格的禅宗様から成る 藝段に十二支を彫刻
桃山時代 慶長十二(1607)



中野清武の墓



但西条松平家
石松平家↓

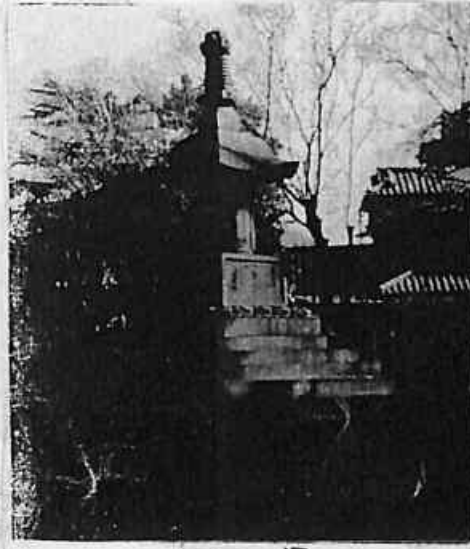
18) 法養寺(旧妙教庵墓地)

- ①家斉最後の側室お瑠璃の方の墓=旗本戸田政方の娘。大奥小姓から手つき中臈。45子齊温、53子泰姫を誕生、齊温は田安家養子をへて尾張家に再養子、11代藩主。家斉没後も落飾せず上臈上座、大奥の実権を握った。弘化元年没、谷中徳川墓地葬とされるが確認できない。青蓮院殿妙香日寿大姉。小型変形宝塔は將軍家側室の墓としては小型で供養塔も考えられる。
- ②大奥女性たちの墓=大奥老女華山、瀧山などが読み取れる。大奥女性たちの墓が纏まって残されているのはほかに例がなく貴重。

19) 永寿寺

- ①本門寺元塔頭。庭瀬戸川氏開基、菩提寺。無嗣廃絶
- ②万両塚=紀伊徳川頼宣娘(家康の孫)で池田光仲室の墓。生前蛇嫌い。死後も蛇を遠ざけるため2重の濠をめぐらした。墓は宝塔。建設費に1万両かかったので万両塚と呼ばれた。

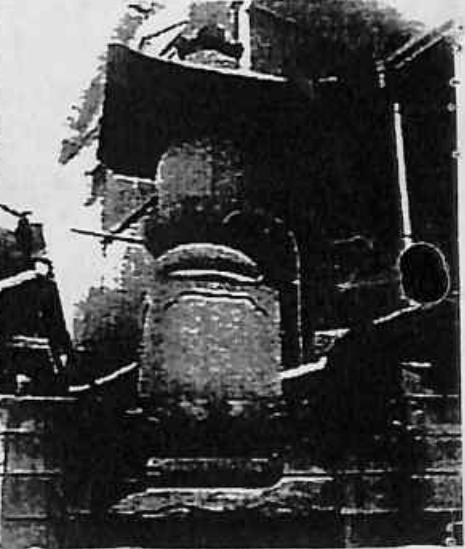
20) 池上会館 (休憩)



万両塚



万両塚の上空庭



家斉側室お蝶

時間あれば洗足池駅へ移動(150円)東急池上線五反田行き乗車6つめ洗足池駅下車

21) 勝海舟別邸跡と墓所 (天候、進行状況により以降のコースを省略することがあります)

- ①勝海舟=幕臣。幕末から明治にかけての政治家。万延元年かん臨丸を指揮して渡米。帰国後、幕府軍艦奉行など。慶応4年西郷隆盛と慶喜助命、江戸城無血開城を談判。維新後海軍卿(大臣)など。引退後も相談的存在で徳川家後見、旧幕臣救済などにあたった。伯爵
- ②海舟の別荘
- ③海舟の墓=海舟(五輪塔およそ1m=明治32年)(戒名など記載なし)
"室たみの墓=勝海舟室、故伯爵勝安房室民子("=明治38年、昭和28年青山霊園から移葬)

22) 洗足池と妙福寺

- ①洗足池=江戸時代はじめに開削されたとみられる灌漑用溜池。面積30万㎡
江戸後期は名勝として広重の「江戸名所百景」にも登場、現在も花見などで賑わう
- ②妙福寺=弘安5年、日蓮聖人が池上への途中、池畔の老松に袈裟をかけて足を洗ったという地名発祥伝説の地袈裟かけの松(代数不明)と池を眺める

以上



洗足池



けさ樹の松



勝海舟の墓



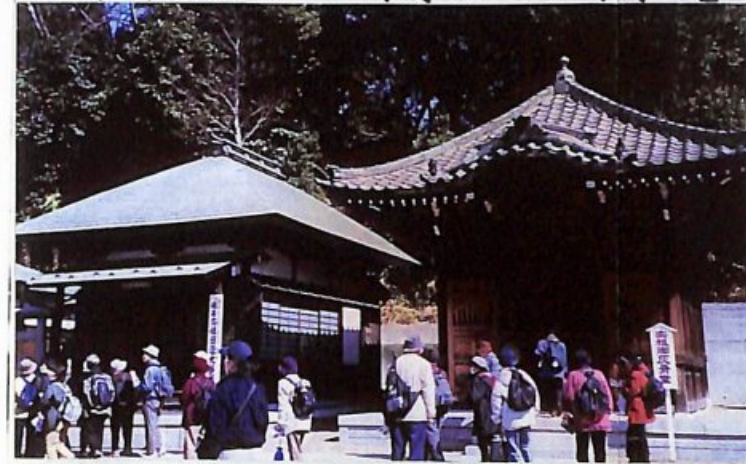
↑ 本門寺 宝塔



松涛園庭園↑ 本行寺↓ 本門寺

城と史跡を歩く会研修会 2月27日
 「池上梅園と本門寺、洗足池を歩く」ALBUM

主要コース＝
 東急池上駅、本門寺、本行寺、区立池上梅園、松涛園庭園、五重の塔、永寿寺、池上会館、洗足池、勝海舟の墓、妙福寺
 参加者(50名)＝敬称略、五十音順
 青木千鶴子、石原志津子、市原享子、板垣てる、稲葉ミツ子、井上勝枝、猪野春枝、板倉 満、今井勝昭、卯月富子、大岩勝男、大谷安弘、小北絢士、荻田恵子、小倉すみ、小野芳樹、加藤幸子、金子昭夫、桑原絹枝、小出敏子、斉藤定子、佐倉光子、笹島 稔、渡木奎吾、渡木恵美子、白土貞子、鈴木クニ子、鈴木淳子、鈴木洋子、竹内 克、竹上 茂、千葉範子、中村節子、西村澄子、藤田康雄、皆川 清、山城美智、山田恵美、吉池一彦、吉池町子、柳沼房子、若菜幾世、渡辺清枝、山岸弘明、小出惣治、国分三男、高澤恒子、鷲津寛子、藪本テイ子、高沢 毅。 写真＝皆川 清



池上梅園